



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 日信電子サービス株式会社

コード番号 4713 URL <http://www.open-nes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山手 哲治

問合せ先責任者 (役職名) 業務推進統括部長

(氏名) 菊地 睦夫

TEL 03-3864-3500

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,223	△4.0	183	△10.9	220	△9.5	104	37.6
23年3月期第2四半期	6,483	5.4	206	143.6	243	89.5	76	24.8

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 97百万円 (41.1%) 23年3月期第2四半期 68百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	17.50	—
23年3月期第2四半期	12.72	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	11,935		9,754		81.7
23年3月期	12,862		9,765		75.9

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 9,754百万円 23年3月期 9,765百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	2.2	850	△11.2	890	△12.1	450	△29.8	75.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	6,000,000 株	23年3月期	6,000,000 株
24年3月期2Q	7,463 株	23年3月期	7,204 株
24年3月期2Q	5,992,657 株	23年3月期2Q	5,992,871 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により停滞した経済活動も徐々に回復し、一部景気に持ち直しの動きが見られましたが、欧州の財政不安や急激な円高進行に伴う企業業績懸念が高まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、「交通サービス事業」におきましては、保守エリアの拡大に注力するとともに、鉄道事業者による駅のホーム柵関連工事の確実な受注に努めました。また、「ITサービス事業」におきましては、昨年新設したソリューション事業部の営業活動に一定の成果が表れ、関連事業の拡大を図りました。さらに、駐車場機器分野の組織再編を推し進め、駐車場機器販売及び運営支援サービスへの積極的な営業活動を展開いたしました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は6,223百万円（前年同期比4.0%減）、経常利益は220百万円（前年同期比9.5%減）、四半期純利益は104百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

#### 「交通サービス事業」

AFC分野では、鉄道事業者による駅のホーム柵関連工事の受注が底堅く推移いたしました。一方、交通システム分野では新設・改修工事が減少、また鉄道信号分野では夏場の電力使用制限に伴う作業計画が遅延したことなどにより、低調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,412百万円（前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益は404百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

#### 「ITサービス事業」

OA機器分野では、ネットワーク及びセキュリティ関連の保守サービスが、データセンターにおけるサーバー監視サービス等のソリューション事業で伸張が見られたものの、ハードを対象とした保守サービスが、経営環境悪化による企業のIT関連設備投資の縮小や遅れの影響を受けた契約保守で伸び悩んだことなどにより、低調に推移いたしました。一方、駐車場機器分野では、契約保守が伸び悩んだものの、機器販売及び設置作業が増加したことなどにより、売上が拡大いたしました。また、医療機器分野でも売上が堅調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は3,810百万円（前年同期比3.6%減）となり、セグメント利益は235百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

なお、セグメント利益の調整額は△456百万円（前年同期△430百万円）となりました。これは、各セグメントに配分されていない全社費用であります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ926百万円減少し、11,935百万円となりました。

負債合計は、買掛金及び未払法人税等、賞与引当金等の減少により、前連結会計年度末に比べ915百万円減少し、2,181百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の減少により、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、9,754百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の減少等により前連結会計年度末に比べ369百万円増加し、1,992百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、499百万円となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得使用した資金は、21百万円となりました。

これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得に伴う支出によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、108百万円となりました。

これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月12日発表の業績予想値に変更はありません。

わが国経済は、輸出の減速や景気刺激策の反動等を背景に、景気は停滞感の強い状態が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、引続き営業力の強化および経営の効率化を図ることにより、業績の向上に努めてまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,623,351	1,992,371
受取手形及び売掛金	3,925,063	2,690,406
商品	10,580	12,751
貯蔵品	410,273	447,016
繰延税金資産	404,259	404,259
預け金	3,600,000	3,600,000
その他	135,745	137,773
貸倒引当金	△156	△106
流動資産合計	10,109,117	9,284,473
固定資産		
有形固定資産	764,091	743,572
無形固定資産	290,528	254,339
投資その他の資産		
投資有価証券	285,740	273,006
その他	1,416,855	1,384,153
貸倒引当金	△3,903	△3,700
投資その他の資産合計	1,698,693	1,653,460
固定資産合計	2,753,312	2,651,372
資産合計	12,862,430	11,935,845
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	716,404	433,949
未払法人税等	340,410	132,248
前受金	200,101	200,882
賞与引当金	727,422	600,454
役員賞与引当金	21,000	12,000
その他	662,585	382,298
流動負債合計	2,667,924	1,761,834
固定負債		
繰延税金負債	388,044	382,861
退職給付引当金	20,818	23,298
その他	20,112	13,092
固定負債合計	428,975	419,252
負債合計	3,096,899	2,181,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,200	833,200
資本剰余金	727,800	727,800
利益剰余金	8,215,401	8,212,429
自己株式	△7,990	△8,239
株主資本合計	9,768,410	9,765,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,880	△10,431
その他の包括利益累計額合計	△2,880	△10,431
純資産合計	9,765,530	9,754,758
負債純資産合計	12,862,430	11,935,845

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,483,201	6,223,471
売上原価	5,829,693	5,555,549
売上総利益	653,507	667,922
販売費及び一般管理費	447,355	484,183
営業利益	206,152	183,738
営業外収益		
受取利息	12,492	9,293
受取配当金	3,715	3,670
不動産賃貸料	1,255	1,256
保険配当金	16,386	19,890
その他	4,530	3,588
営業外収益合計	38,381	37,699
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,119	1,119
その他	14	42
営業外費用合計	1,134	1,162
経常利益	243,398	220,276
特別利益		
固定資産売却益	—	0
貸倒引当金戻入額	11,398	—
特別利益合計	11,398	0
特別損失		
固定資産除却損	2,637	163
投資有価証券評価損	57,178	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,600	—
特別損失合計	70,416	163
税金等調整前四半期純利益	184,381	220,113
法人税等	108,172	115,214
少数株主損益調整前四半期純利益	76,209	104,899
四半期純利益	76,209	104,899
少数株主損益調整前四半期純利益	76,209	104,899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,222	△7,551
その他の包括利益合計	△7,222	△7,551
四半期包括利益	68,986	97,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,986	97,347



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	184,381	220,113
減価償却費	85,420	83,071
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,600	—
のれん償却額	6,535	6,535
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11,631	△253
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,877	△126,968
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,500	△9,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,500	2,479
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△23,321	12,129
投資有価証券評価損益 (△は益)	57,178	—
受取利息及び受取配当金	△16,207	△12,964
売上債権の増減額 (△は増加)	540,470	1,235,641
たな卸資産の増減額 (△は増加)	38,560	△38,914
仕入債務の増減額 (△は減少)	△148,257	△282,733
その他	△27,126	△135,539
小計	673,725	953,598
利息及び配当金の受取額	16,207	12,964
特別退職金の支払額	—	△145,487
法人税等の支払額	△331,877	△322,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	358,055	499,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,749	△12,843
無形固定資産の取得による支出	△38,593	△28,352
その他	4,587	19,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,756	△21,978
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△138	△249
配当金の支払額	△60,144	△107,763
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,282	△108,013
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215,017	369,020
現金及び現金同等物の期首残高	1,464,094	1,623,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,679,111	1,992,371

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,528,325	3,954,876	6,483,201	—	6,483,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,528,325	3,954,876	6,483,201	—	6,483,201
セグメント利益(営業利益)	399,806	236,571	636,377	△430,225	206,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△430,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの、のれんに関する情報

のれんの償却額及び未償却残高

(単位:千円)

	交通サービス事業	I Tサービス事業	全社	合計
当第2四半期連結累計期間 償却額	—	6,535	—	6,535
当第2四半期会計期間末 残高	—	52,286	—	52,286

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,412,591	3,810,880	6,223,471	—	6,223,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,412,591	3,810,880	6,223,471	—	6,223,471
セグメント利益(営業利益)	404,421	235,524	639,946	△456,207	183,738

(注) 1. セグメント利益の調整額△456,207千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの、のれんに関する情報  
のれんの償却額及び未償却残高

(単位：千円)

	交通サービス事業	I T サービス事業	全社	合計
当第2四半期連結累計期間 償却額	—	6,535	—	6,535
当第2四半期会計期間末 残高	—	39,214	—	39,214

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。